

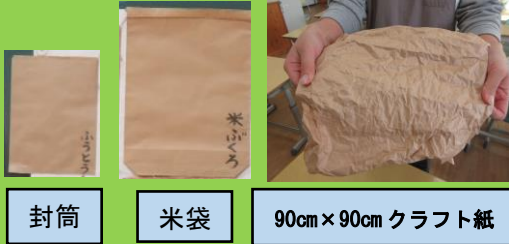
学 年	教科等	題材名	日 時
第2学年	図画工作科	くしゃくしゃ ゑゅっ	令和1年11月13日(水) 5校時

材料のもつ特徴を造形的な視点で捉えさせる

- ① 素材と触れ合い、子どもに気付かせたいクラフト紙の特徴を明確にした。(授業前)

クラフト紙について気付かせたいことは「目が細くなるほどやわらかくなる」とする。働きかけさせることでやわらかくなることに気付かせていく。

取り扱うクラフト紙(厚みや大きさが異なる)



- ② 大きさや厚みの異なる3種類のクラフト紙に働きかけさせることで、クラフト紙の特徴に気付くことができるようにした。(前時)



封筒を、こするようになってくしゃくしゃにしてみたよ。究極のやわらかさになったよ。



わたしのクラフト紙、触ってみて。どう？気持ちいいかな。



ぼくのと手触りが違うね。どうやったの？

大きなクラフト紙をちょっとだけしわくちゃにして広げたら、ふんわりしてきたよ。



米袋は頑丈だから、体全体を使ってぎゅーっとしてみたよ。やわらかくしたいから、何回もして、くしゃくしゃにしたよ。

- ③ 材料を造形的な視点で捉えることができるようにするために、導入の工夫を行った。(本時)

新たな材料を使い、指導者にとって気持ちの良い感じを見付けていく様子を見せることで、感触や形を変化させていくという活動のイメージをもつことができるようにした。



クラフト紙の間に新聞紙を挟んで膨らませてみたよ。

新聞紙を細かくちぎったらもっと気持ち良くなりそうだ。



ひもでしばって、抱きしめやすい形にしてみようかな。

長いひもを使ってぐるぐる巻きにするのもいいかも。

子どもの造形活動を支える

- ① 場の設定により、仲間とのかかわりを見出したり、掲示物により学びの足跡を確認できるようにしたりすることで、子どもの発想や構想を促した。(本時)

見通しのきく広い教室

材料置き場を2箇所に設置し交流が生まれるようにした。

ぎゅーとしばりたいから、おさえていてね。



学びの足跡

分かった。この辺でいいかな。

- ② 活動が進まない子どもには声をかけ、助言した。活動に満足している子どもには共感したり質問したりすることで活動を見取った。(本時)

くもが何回やっても手はくしゃくしゃだよ。



細かい部分だからしばりにくそうだね。ひもの代わりに輪ゴムを使ってみたらどうかな。

ふんわりだよ。触ってみて。

ふんわりだね。どうやってふんわりをつくり出したの。

ちぎった新聞紙と空気を入れたよ。

授業をふりかえって

- 素材の特徴を整理したり導入の工夫を行ったりしたことで、感触や形に着目させ、イメージをもたせたうえで活動させることができた。
- 教育機器を用いて全員の活動の様子を見取り、評価につなげていく必要がある。
- 無駄な動きを少なくし、自然と仲間同士のかかわりが生まれやすくなるような活動の場の工夫について研究していく必要がある。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

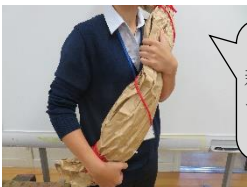
1 題材指導計画（3時間）

段階	主な学習活動及び学習内容 ※ 吹き出しは予想される子どもの問題意識や目的意識	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す	1 めぐつと抱きしめる行為と出合い活動の見通しをもつ。 ○ めぐつとする行為への気付き めぐつとするって気持ちがいいよね。 ○ 題材のめあて めぐつとしたときに、自分にとって気持ちのいいかんじを見付けよう。 ○ クラフト紙との出合い クラフト紙だと、めぐつてしたときに、かたい感じがしそうだな。 クラフト紙をやわらかくできないかな。 (1) ○ 活動の見通し ① くしゃくしゃ大作せん ② もっと気持ちよく大作せん ③ めぐつとしてみ大会 2 3種類のクラフト紙をいろいろな方法でくしゃくしゃにする。 (くしゃくしゃ大作せん) ○ 手でもんでくしゃくしゃ ○ 抱きしめてくしゃくしゃ 等	○ 「めぐつ」という言葉から、抱きしめる行為を連想させ、赤ちゃんや動物を抱きしめたときに気持ちがよかった経験について想起させる。 ○ 「自分にとって」という言葉を入れることで、自分で工夫してみようとする意欲を高めることができるようにする。 ○ めぐつと抱きしめる対象がクラフト紙かどうか問うことで、赤ちゃんや動物とクラフト紙の違いの1つに、やわらかさがあることに気付くことができるようにする。 ○ 小さなクラフト紙で試させることで、クラフト紙をくしゃくしゃにすればやわらかくすることに気付くことができるようにする。 ○ 封筒、大きなクラフト紙、厚みのある米袋に働きかけさせることで、やわらかく変化していく感触を、手や体全体で味わうことができるようにする。	○ クラフト紙へ働きかけ、感触の変化に気付いている。 (知・技)【観察】
挑む	3 もっと気持ちよくする工夫について考える。(もっと気持ちよく大作せん) ○ 感触や形への気付き 新聞紙を挟むとクラフト紙がふくらんで、めぐつとしたときに気持ちよさそうだな。ひもでしばって抱きしめやすい形にするのもいいね。 ○ 新たな材料との出合い ・ 新聞紙、ひも等 ちぎって丸めた新聞紙を封筒の中に詰めたらふんわりしそうだな。 大きなクラフト紙で新聞紙を包んでひもでしばったら、体になじむ形ができないかな。 ○ クラフト紙の選択と活動の工夫 少しかたい感じが好きだから米袋を使ってみようかな。新聞紙をぎゅうぎゅうに詰めるのもよさそうだ。	○ クラフト紙と、新聞紙やひも等を用いて気持ちのいい感じを見付けていく様子を見せることで、感触や形に着目させ、活動のイメージをもつことができるようにする。 ○ 新聞紙については、これまでに見付けた特徴を掲示しておくことで、抱き心地をよくするための工夫について考えるヒントとなるようにする。 ○ ひも等については、扱いやすいアクリルひも、輪ゴム、モールを用意することで、しばりにくい箇所でも、簡単にしばって形を変えることができるようにする。 ○ やわらかくした封筒、大きなクラフト紙、米袋のなかから材料を選択させることで、自分にとっての気持ちのよい感じのイメージに近付けることができるようにする。	○ 気持ちのよい感触や形を見付けるために、新聞紙やひも等を使った活動の仕方を考えている。 (思・判・表)【観察】 ○ 自分にとっての気持ちのよい感じを見付けようとしている。 (態度)【観察】
生かす	4 めぐつと抱きしめたときに気持ちのよい感触や形を紹介し合う。 (めぐつとしてみ大会) ○ 鑑賞カードによるふりかえり 大きなクラフト紙を半分におりたんで、その間に長くちぎった新聞紙をたくさんはさみました。上とまん中と下をひもでしばると、ふわふわした細長いだきまくらみたいになりました。	○ 気持ちよくするために工夫したことや、どのような感触や形に気持ちよさを感じるのか整理させることで、活動の工夫や自分なりの見方や感じ方が明確になるようにする。 ○ 仲間にとっての気持ちのよい感じも確かめることで、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。	○ ふりかえりの視点に沿ったふりかえりをしている。 (知・技)【鑑賞カード】

2 本時の目標

抱きしめたときに気持ちの良い感触や形を見付けるために、新聞紙やひも等を使った活動の仕方を考えることができる。

3 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1 気持ちの良い感触や形と出会い、本時の見通しをもつ。 ○ 感触や形への気付き 新聞紙を挟むとクラフト紙がふくらんで、ぎゅっとしたときに気持ちよさそうだな。ひもでしばって抱きしめやすい形にするのもいいね。 ○ 学習計画表の確認 - 本時は「もっと気持ちよく大作せん」 2 本時の学習について話し合う。 ○ 本時のめあて 新聞紙とひもをつかって、ぎゅっとしたときに、もっと気持ちのいいかんじを見つけよう。 ○ 新たな材料との出会い - 新聞紙 ちぎって丸めた新聞紙を封筒の中に詰めたらふんわりしそうだな。 - ひも等 大きなクラフト紙で新聞紙を包んでひもでしばったら、体になじむ形ができないかな。 3 新聞紙やひも等を使って、抱きしめたときに気持ちの良い感じを見付けていく。 ○ クラフト紙の選択 少しかたい感じが好きだから米袋を使ってみようかな。 ○ 活動の仕方（例） 大きなクラフト紙で、長くちぎった新聞紙を巻いてみたよ。ひもでしばって体に巻き付くような形にしてみたよ。 米袋に、ちぎって丸めた新聞紙を詰めたら、ふんわりしたよ。ひもで2箇所しばってみたら、持ち手ができたよ。 封筒に、ちぎって丸めた新聞紙を詰めて、あごに当ててみたら気持ちよかったよ。真ん中をしばって、あごの形に合わせてみたよ。 4 ふりかえりの視点に沿って学習をふりかえる。 ○ 新聞紙をどうしたら感触や形がどうなったか ○ ひも等をどうしたら感触や形がどうなったか 5 次時への見通しをもつ。 ○ 学習計画表の確認	○ クラフト紙と、新聞紙やひも等を用いて気持ちの良い感じを見付けていく様子を見せることで、感触や形に着目させ、活動のイメージをもつことができるようにする。 ○ 新聞紙については、これまでに見付けた特徴を掲示しておくことで、抱き心地をよくするための工夫について考えるヒントとなるようにする。 ○ ひも等については、扱いやすいアクリルひも、輪ゴム、モールを用意することで、しぼりにくい箇所でも、簡単にしばって形を変えることができるようにする。 ○ やわらかくした封筒、大きなクラフト紙、米袋のなかから材料を選択させることで、自分にとっての気持ちの良い感じのイメージに近付けることができるようにする。 ○ ふりかえりの視点を示し、何を考えていけばよいのか分かるようにすることで、目的意識をもって活動することができるようにする。 ○ 両面テープ、のりを用意しておくことで、大きなクラフト紙を袋状にしたいという子どもの思いに応えることができるようにする。 ○ 広く、見通しのきく空間で活動させることで、体全体をつかって試すことができるようにするとともに、互いの様子を見て自分の活動のヒントにすることができるようにする。 ○ 活動の仕方が分からない子どもへは、新聞紙を詰めた袋状のクラフト紙の抱き心地や材料の工夫を確かめさせることで、活動のヒントとなるようにする。 ○ 早く終わった子どもには、他のクラフト紙でも気持ちの良い感じを見付けることができないか問うことで、自分の見方や感じ方をさらに広げることができるようにする。 ○ 新聞紙やひも等の使い方の工夫をふりかえらせることで、自分の活動について確かめることができるようにする。

4 本時の評価規準

抱きしめたときに気持ちの良い感触や形を見付けるために、新聞紙やひも等の材料に働きかけ、活動の仕方を考えている。
(思・判・表)【観察】